



田んぼを守るぞ!! (今年は、ラプンツェルのかかしです)

朝山幼稚園児が、「かかし」と「にこにこたんぼ」の看板を作ってくれました。

ふるさと朝山で見られる動植物シリーズ⑬

ツメレンゲ



朝山地区には岩場や崖地が多くみられます。10月下旬から11月頃、近くの岩場をのぞいてみると写真のような花をつけた植物が見られるかもしれません。乾燥した日当たりのよい岩場を好んで生育する、ベンケイソウ科イワレンゲ属に分類される多肉植物です。

ツメレンゲ (爪蓮華) の名は、ロゼットを構成する多肉質の葉の先端が尖っており、その形状が獣類の爪に似ることに加え、ロゼット状に広がる葉の様子が仏像の台座 (蓮華座) に似ていることから名付けられています。密生しロゼット状にまとまった葉は、その径が最大10cm以上になることもあります。季節により変化し、冬には若干小さくなっています。葉が常緑・多肉質で先端が針状になっているといったこの植物の特徴を覚えておけば、花がないときでも岩場でたやすく見つけることができます。

花は晩秋に咲き、伸長したロゼットの中央軸が伸び上がり高さ10~20cmほどの花穂を伸ばし、花の下の方から順に花を開き始めます。写真のように、多数の花を円錐状に群生させるので、遠くからでもよく目立ちます。花弁は5枚で白色、萼は赤く花弁の白に対してよく映えますので、機会があれば捜してみようといでしょう。

ベンケイソウ科の植物は、園芸植物として販売されているものが多く、海外から多種多様なものが移入されています。しかし、このツメレンゲは昔から地元で自生している植物で、

季節ごとに葉の形などが明確に変化する植物ですので、季節ごとの変化を観察してみるのも面白いと思います。このように四季の変化に伴って形態が変わる種は珍しく、これは四季の変化がはっきりしている日本の環境への適応と考えられています。

なお、ツメレンゲは生育地が限られていることや、山草愛好家による盗採などにより生育地が減少してきており、環境省や鳥根県のレッドデータブックでは準絶滅危惧種に選定されています。

馬木町 佐藤仁志

朝山地区の動き・お知らせ

朝山幼稚園 流しそめん

7月23日(水)、朝山幼稚園で「流しそめん」が行われ、朝山コミュニティセンターの職員が招待を受けました。

地元の高野春夫さんや成相裕之さんに「流しそめん」で使う竹などを準備していただき、楽しく「流しそめん」ができました。



出雲仏教会 修養の集い

8月21日(木)、出雲仏教会の主催で「修養の集い」が開催され、たくさん子どもたちが集まりました。

座禅を体験するとともに、みなみ小学校の川上校長先生のお話を聞いたり、お座敷ボウリングを楽しみました。



みなみ小学校・朝山幼稚園 なかよし運動会

9月27日(土)、みなみ小学校・朝山幼稚園の「なかよし運動会」が開催されました。天気は曇りがちでしたが、風もあり比較的快適な運動会となりました。



世帯数と人口

令和7年9月末現在
(昨年同期数)

世帯数 599戸(592戸)

人口 1,545人(1,572人)

男性 712人(724人)

女性 833人(848人)

朝山コミュニティセンター 令和8年度採用職員を募集しています

採用職種：マネジャー 1名

応募方法：履歴書をコミセンに提出してください

応募締切：11月17日(月) 午後5時まで

詳細は、今月配布の募集要項をご覧ください

米づくり体験教室（ふれあい支援部主催）

みなみ小5年生14名と朝山幼稚園児5名が、米づくりに挑戦しました。



「ばば曳き」にも挑戦しました



豊作!



7月29日(火) 夏休み子どもサロン

青少年部のスタッフさんが準備された 様々な「ゲーム」と「千本引き(くじ引き)」を子どもたちが楽しみました。終了後、「夏休み子供食堂(JA女性部)」から、地元の野菜を使ったカレーライス、サラダ、スイカなど昼食の提供がありました。



8月3日(日) 文化講演会（文化部主催）

演題：『出雲国風土記』にみえる古代の朝山

講師：島根県埋蔵文化財調査センター 平石 充 先生

『出雲国風土記』に記された朝山郷の神社や山（いわゆる「朝山六神山」）について、風土記の様々な注釈書にどのように取り上げられているかをご説明いただきました。注釈書によって様々な解釈があり、朝山六神山についても下図のとおり取り扱いが様々であることが分かりました。

